

鳥飼地域における学校の適 正規模・適正配置について

保護者説明会資料

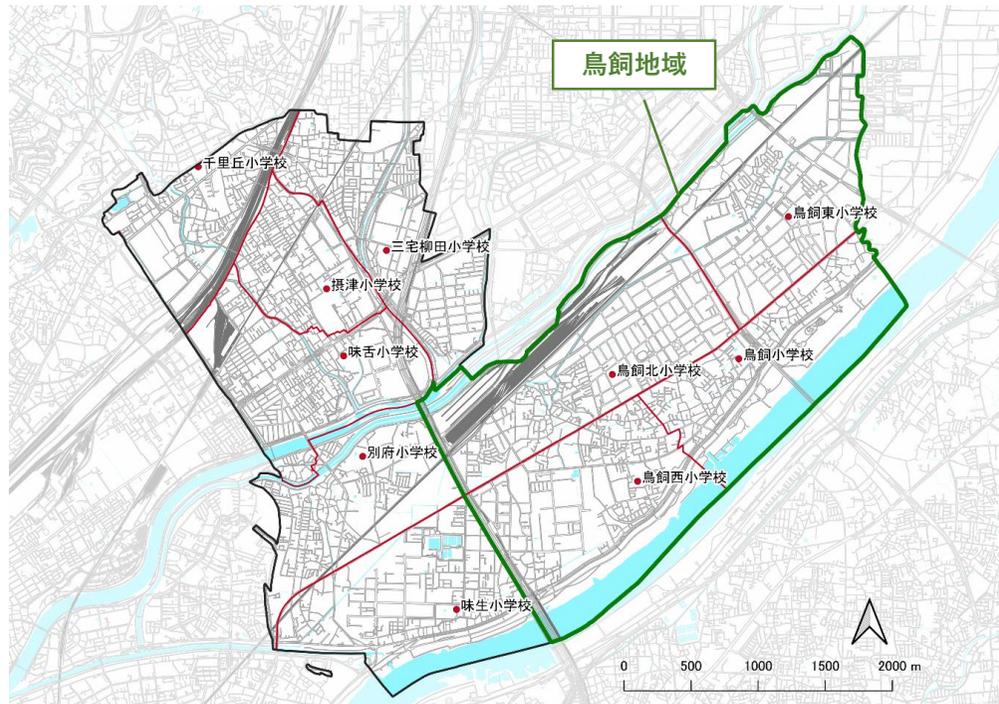
摂津市教育委員会

1. 鳥飼地域の市立小中学校の現状と将来推計	1
2. 鳥飼地域における学校規模適正化の検討過程について	6
3. 鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置計画（案）	12
4. 今後のスケジュール（案）	18

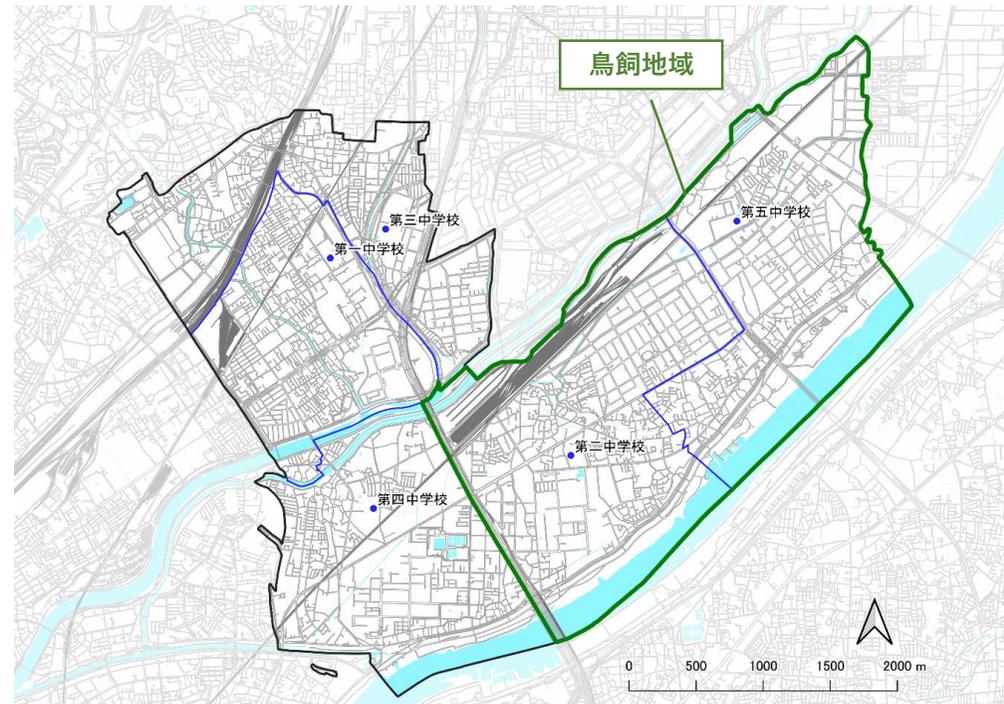
1.鳥飼地域の市立小中学校の現状と将来推計

(1) 摂津市学校図（現状）

(小学校区)



(中学校区)



1.鳥飼地域の市立小中学校の現状と将来推計

(2) 児童生徒数及び学級数の現況

資料：教育委員会

◆鳥飼地域における小中学校の児童生徒数及び学級数（R5.5.1現在）◆

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	外支援
鳥飼小学校	男	11	15	20	15	16	19	96	
	女	12	13	20	13	16	12	86	
	計	23	28	40	28	32	31	182	
	内支援	0	2	5	2	5	8	22	
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	
鳥飼西小学校	男	38	46	38	32	25	36	215	
	女	34	29	37	39	30	46	215	
	計	72	75	75	71	55	82	430	
	内支援	4	4	7	9	4	6	34	
	学級数	2	3	2	2	2	2	13	
鳥飼北小学校	男	20	33	26	37	27	29	172	
	女	20	22	20	32	26	28	148	
	計	40	55	46	69	53	57	320	
	内支援	3	9	7	12	10	6	47	
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	
鳥飼東小学校	男	13	13	8	10	20	14	78	
	女	10	9	16	11	10	14	70	
	計	23	22	24	21	30	28	148	
	内支援	2	1	5	3	5	4	20	
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	

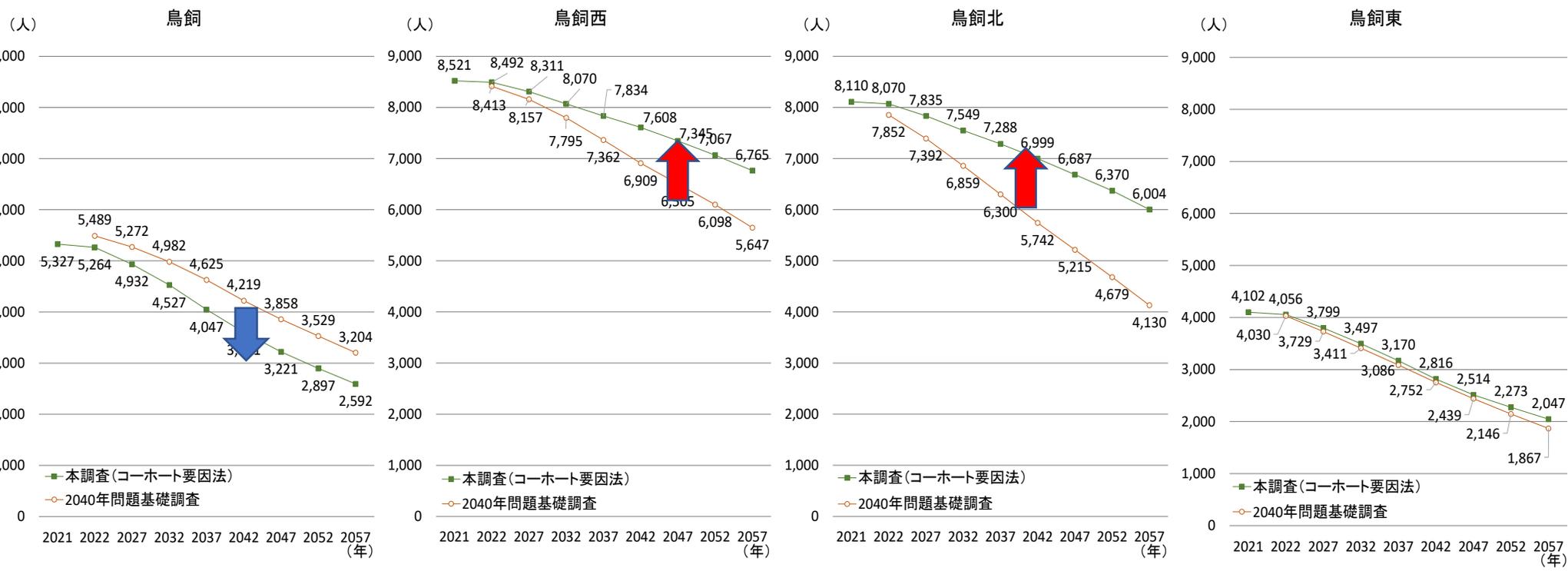
		1年	2年	3年	計	外支援
第二中学校	男	73	58	78	209	
	女	62	69	65	196	
	計	135	127	143	405	
	内支援	10	10	9	29	
	学級数	4	4	4	12	
第五中学校	男	22	44	39	105	
	女	28	38	44	110	
	計	50	82	83	215	
	内支援	6	10	5	21	
	学級数	2	3	3	8	

1.鳥飼地域の市立小中学校の現状と将来推計

(3) 鳥飼地区の将来人口推計

鳥飼地区の将来人口を推計すると以下のとおりであり、長期的に減少すると見込まれます。

◆小学校区別人口◆



1.鳥飼地域の市立小中学校の現状と将来推計

(4) 児童・生徒数の推計

◆各小学校区の年齢1歳階級別人口推計（コーホート要因法）（4月1日現在人口）◆

鳥飼	2021年	2022年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
0歳	25	24	24	22	18	14	12	11	11
1歳	33	27	25	23	20	16	13	12	12
2歳	23	33	25	24	21	17	13	12	12
3歳	35	22	25	24	20	16	13	11	11
4歳	25	36	26	26	22	18	14	11	11
5歳	30	25	26	26	24	19	14	12	11
6歳	44	29	26	25	23	19	14	11	11
7歳	31	42	29	23	22	18	16	11	11
8歳	34	31	20	23	22	18	16	12	11
9歳	33	33	30	23	23	19	17	13	11
10歳	38	33	22	23	23	21	18	13	11
11歳	46	38	27	24	23	21	18	14	11
12歳	46	46	40	28	23	22	18	16	11
13歳	44	46	30	20	23	22	18	16	12
14歳	46	43	33	29	23	23	19	17	13
鳥飼西	2021年	2022年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
0歳	68	71	75	78	77	69	62	58	60
1歳	64	67	73	76	76	70	62	57	57
2歳	79	62	69	74	75	69	61	55	55
3歳	64	76	66	70	71	68	62	55	53
4歳	75	64	65	70	71	69	63	56	53
5歳	84	75	65	69	71	71	63	57	53
6歳	76	81	60	66	69	69	63	56	51
7歳	74	76	58	64	69	69	64	57	51
8歳	60	73	72	63	67	68	65	59	52
9歳	83	59	59	61	66	67	65	59	52
10歳	88	82	69	61	65	67	67	59	53
11歳	69	87	77	58	64	67	67	61	54
12歳	77	67	70	54	60	65	65	60	53
13歳	91	77	69	69	61	65	66	63	57
14歳	88	90	58	57	60	65	66	64	58

鳥飼北	2021年	2022年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
0歳	53	52	54	57	53	45	38	36	37
1歳	43	52	52	56	53	46	38	35	36
2歳	58	43	53	56	55	47	39	35	35
3歳	54	57	50	55	55	49	41	35	35
4歳	43	55	51	55	56	52	43	37	36
5歳	52	42	50	53	56	52	44	38	36
6歳	44	50	51	50	54	51	45	38	35
7歳	71	44	42	50	53	52	45	39	35
8歳	54	71	55	48	53	53	48	41	35
9歳	64	53	52	47	51	52	48	41	35
10歳	57	63	40	46	49	52	48	42	36
11歳	64	57	49	49	48	52	49	44	37
12歳	73	64	43	40	48	51	50	44	38
13歳	85	73	68	53	46	51	51	46	40
14歳	88	85	52	51	46	50	51	47	41
鳥飼東	2021年	2022年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
0歳	10	16	15	15	12	9	7	7	7
1歳	16	10	16	16	14	9	8	7	7
2歳	17	16	16	16	14	11	8	7	7
3歳	26	16	15	15	14	11	8	7	7
4歳	23	27	15	15	14	11	8	7	7
5歳	22	23	16	15	15	12	8	7	7
6歳	24	21	9	14	14	12	8	8	7
7歳	19	23	14	14	14	12	10	8	7
8歳	32	19	15	14	14	13	11	8	7
9歳	26	32	24	14	14	13	11	8	7
10歳	24	26	21	15	14	14	11	8	7
11歳	42	24	20	9	14	14	12	8	8
12歳	41	42	22	14	14	14	12	10	8
13歳	42	41	19	15	14	14	13	11	8
14歳	42	41	32	24	14	14	13	11	8

0~9人 10~35人 36~70人 71人~

1.鳥飼地域の市立小中学校の現状と将来推計

(5) 学級数の推計

◆小学校の将来学級数の推計（コーホート要因法）◆

学校	区分	学年	実績	推計						
			2021年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
鳥飼小	児童数	1年生	40	26	25	23	19	14	11	11
		2年生	29	29	23	22	18	16	11	11
		3年生	33	20	23	22	18	16	12	11
		4年生	31	30	23	23	19	17	13	11
		5年生	34	22	23	23	21	18	13	11
		6年生	46	27	24	23	21	18	14	11
		計	213	154	141	136	116	99	74	66
	学級数	1年生	2	1	1	1	1	1	1	1
		2年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		3年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		4年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		5年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		6年生	2	1	1	1	1	1	1	1
		計	8	6	6	6	6	6	6	6

学校	区分	学年	実績	推計						
			2021年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
鳥飼北小	児童数	1年生	43	51	50	54	51	45	38	35
		2年生	68	42	50	53	52	45	39	35
		3年生	53	55	48	53	53	48	41	35
		4年生	63	52	47	51	52	48	41	35
		5年生	57	40	46	49	52	48	42	36
		6年生	63	49	49	48	52	49	44	37
		計	347	289	290	308	312	283	245	213
	学級数	1年生	2	2	2	2	2	2	2	1
		2年生	2	2	2	2	2	2	2	1
		3年生	2	2	2	2	2	2	2	1
		4年生	2	2	2	2	2	2	2	1
		5年生	2	2	2	2	2	2	2	2
		6年生	2	2	2	2	2	2	2	2
		計	12	12	12	12	12	12	12	8

学校	区分	学年	実績	推計						
			2021年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
鳥飼西小	児童数	1年生	75	60	66	69	69	63	56	51
		2年生	72	58	64	69	69	64	57	51
		3年生	56	72	63	67	68	65	59	52
		4年生	81	59	61	66	67	65	59	52
		5年生	87	69	61	65	67	67	59	53
		6年生	66	77	58	64	67	67	61	54
		計	437	395	373	400	407	391	351	313
	学級数	1年生	2	2	2	2	2	2	2	2
		2年生	2	2	2	2	2	2	2	2
		3年生	2	3	2	2	2	2	2	2
		4年生	2	2	2	2	2	2	2	2
		5年生	2	2	2	2	2	2	2	2
		6年生	2	3	2	2	2	2	2	2
		計	12	14	12	12	12	12	12	12

学校	区分	学年	実績	推計						
			2021年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
鳥飼東小	児童数	1年生	24	9	14	14	12	8	8	7
		2年生	19	14	14	14	12	10	8	7
		3年生	31	15	14	14	13	11	8	7
		4年生	26	24	14	14	13	11	8	7
		5年生	22	21	15	14	14	11	8	7
		6年生	42	20	9	14	14	12	8	8
		計	164	103	80	84	78	63	48	43
	学級数	1年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		2年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		3年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		4年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		5年生	1	1	1	1	1	1	1	1
		6年生	2	1	1	1	1	1	1	1
		計	7	6	6	6	6	6	6	6

注) 「実績」は、2021年5月1日現在の学校基本調査による

「学級数」は、学齢人口を1学級35人で除し、端数を切り上げて計算したもので、網掛け（オレンジ）は学級数の標準（12以上）を割り込むもの（なお、2052年及び2057年では複式学級とすることが可能となる）

なお、「実績」は在籍数であり、推計は住民基本台帳による学齢人口であるため、例えば「実績」に含まれない私立学校に通学する児童生徒も「推計」には含まれることに留意が必要。

2.鳥飼地域における学校規模適正化の検討過程について

～摂津市立小中学校通学区域等審議会への諮問～

【構成員】

学識経験者（2名）

鳥飼地域の自治会長（4名）

PTA（4名）

青少年指導員（2名）

未就学児の保護者（4名）

小中学校長（3名）

計19名

【諮問事項】

■摂津市立鳥飼小学校及び鳥飼東小学校の適正規模・適正配置等について

（理由）

本市の鳥飼地域における学齢期の人口は減少傾向にある。とりわけ、鳥飼小学校区及び鳥飼東小学校区の減少は著しく、児童の教育環境に大きな影響を及ぼしており、早急に対応が必要となるため。

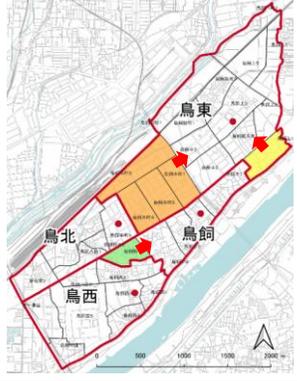


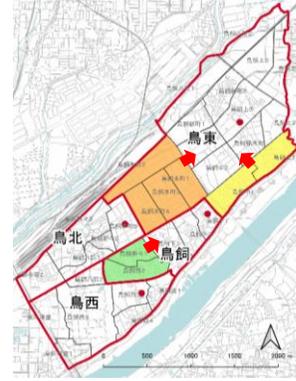
【校区再編】

■ 校区再編による児童数・学級数のシミュレーション (小学校4校を統合せず、校区を再編)

- a. 小規模化は鳥飼小と鳥飼東小で進んでいるため、基本はそれぞれ隣接する鳥飼西小及び鳥飼北小からの児童数の東西方向の移動を行うが、鳥飼東小が特に小規模であることから、鳥飼小から鳥飼東小への南北方向の児童数の移動も選択肢に加える。
- b. 再編の最小単位は町丁目単位とする。

● 2027年推計 網掛けは12学級未満

再編案	学年	児童数(人)				学級数(学級)			
		鳥飼	鳥西	鳥北	鳥東	鳥飼	鳥西	鳥北	鳥東
現行校区 	全学年	154	395	289	103	6	14	12	6
	6年生	27	77	49	20	1	3	2	1
	5年生	22	69	40	21	1	2	2	1
	4年生	30	59	52	24	1	2	2	1
	3年生	20	72	55	15	1	3	2	1
	2年生	29	58	42	14	1	2	2	1
	1年生	26	60	51	9	1	2	2	1
案1 	全学年	204	322	238	177	9	12	10	7
	6年生	37	63	40	33	2	2	2	1
	5年生	32	56	33	31	1	2	1	1
	4年生	36	48	43	38	2	2	2	2
	3年生	30	59	45	28	1	2	2	1
	2年生	36	47	35	25	2	2	1	1
	1年生	33	49	42	22	1	2	2	1

案2 	全学年	256	270	238	177	12	12	10	7
	6年生	47	53	40	33	2	2	2	1
	5年生	41	47	33	31	2	2	1	1
	4年生	44	40	43	38	2	2	2	2
	3年生	40	49	45	28	2	2	2	1
	2年生	43	40	35	25	2	2	1	1
	1年生	41	41	42	22	2	2	2	1
案3 	全学年	292	196	238	215	12	8	10	9
	6年生	55	38	40	40	2	2	2	2
	5年生	48	34	33	37	2	1	1	2
	4年生	48	29	43	45	2	1	2	2
	3年生	48	36	45	33	2	2	2	1
	2年生	47	29	35	32	2	1	1	1
	1年生	46	30	42	28	2	1	2	1
案4 	全学年	307	181	238	215	12	6	10	9
	6年生	58	35	40	40	2	1	2	2
	5年生	50	32	33	37	2	1	1	2
	4年生	50	27	43	45	2	1	2	2
	3年生	51	33	45	33	2	1	2	1
	2年生	49	27	35	32	2	1	1	1
	1年生	49	27	42	28	2	1	2	1

■小学校規模適正化のパターン

パターン	小学校の組み合わせ	適正規模	検討結果
① 小学校4校を統合せず、校区を再編	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 鳥飼西小 鳥飼北小 鳥飼東小 	×	小学校4校を統合せず、校区再編を行うだけでは小規模校を解消することはできない
② 小規模校2校のみ統合	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼東小 (新小A) 鳥飼西小 鳥飼北小 	○	鳥飼小と鳥飼東小を統合し、校区を再編する場合、小規模校の解消が可能
③ 2校ずつ統合(東西)	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼西小 (新小B) 鳥飼北小 + 鳥飼東小 (新小C) 	○	新小Bは当初は適正規模を上回るが、その後は適正規模を維持できる 新小学校Cは期中(※)は適正規模を維持できる
④ 小規模校2校と鳥飼西小の3校を統合	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼西小 + 鳥飼東小 (新小D) 鳥飼北小 	○	新小Dは当初は適正規模を上回るが、その後は適正規模を維持できる 鳥飼北小は2057年を除き期中は概ね適正規模を維持できる
⑤ 小規模校2校と鳥飼北小の3校を統合	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼北小 + 鳥飼東小 (新小E) 鳥飼西小 	○	新小Eは当初は適正規模を上回るが、その後は適正規模を維持できる 鳥飼西小は期中は適正規模を維持できる
⑥ 小学校4校を1校に統合	<ul style="list-style-type: none"> 鳥飼小 + 鳥飼西小 + 鳥飼北小 + 鳥飼東小 (新小F) 	×	期中はすべて18学級を上回る

2.鳥飼地域における学校規模適正化の検討過程について

～小中学校の教育環境等に関するアンケート調査～

1 調査目的

小規模校化する鳥飼地域の学校の今後の施策検討に向けて、保護者の意向を把握することを目的とします。

2 調査項目

- ◆ 回答者について
- ◆ 小中学校の適正規模について
- ◆ 小学校の通学時間や通学方法について

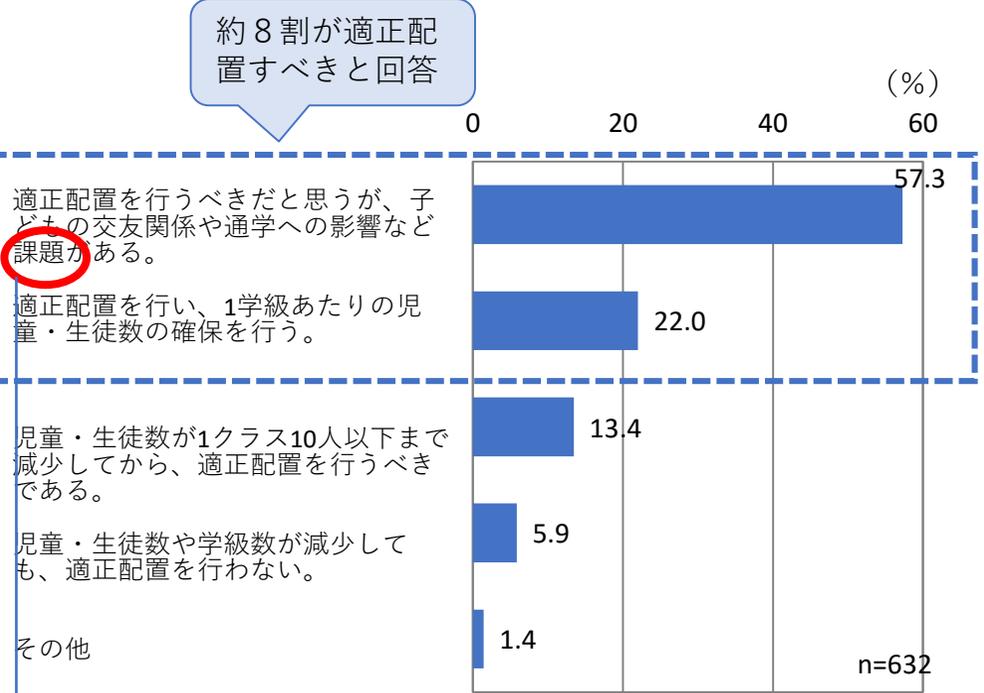
3 調査の設計

対象地域	摂津市鳥飼地域
調査対象	摂津市鳥飼地域の未就学児・小学生・中学生の保護者 1,730 世帯
抽出方法	記入お願いします
調査方法	対象の教育施設に配布し、WEB回答フォームより回収
調査時期	2022年9月16日（金）～10月10日（月）

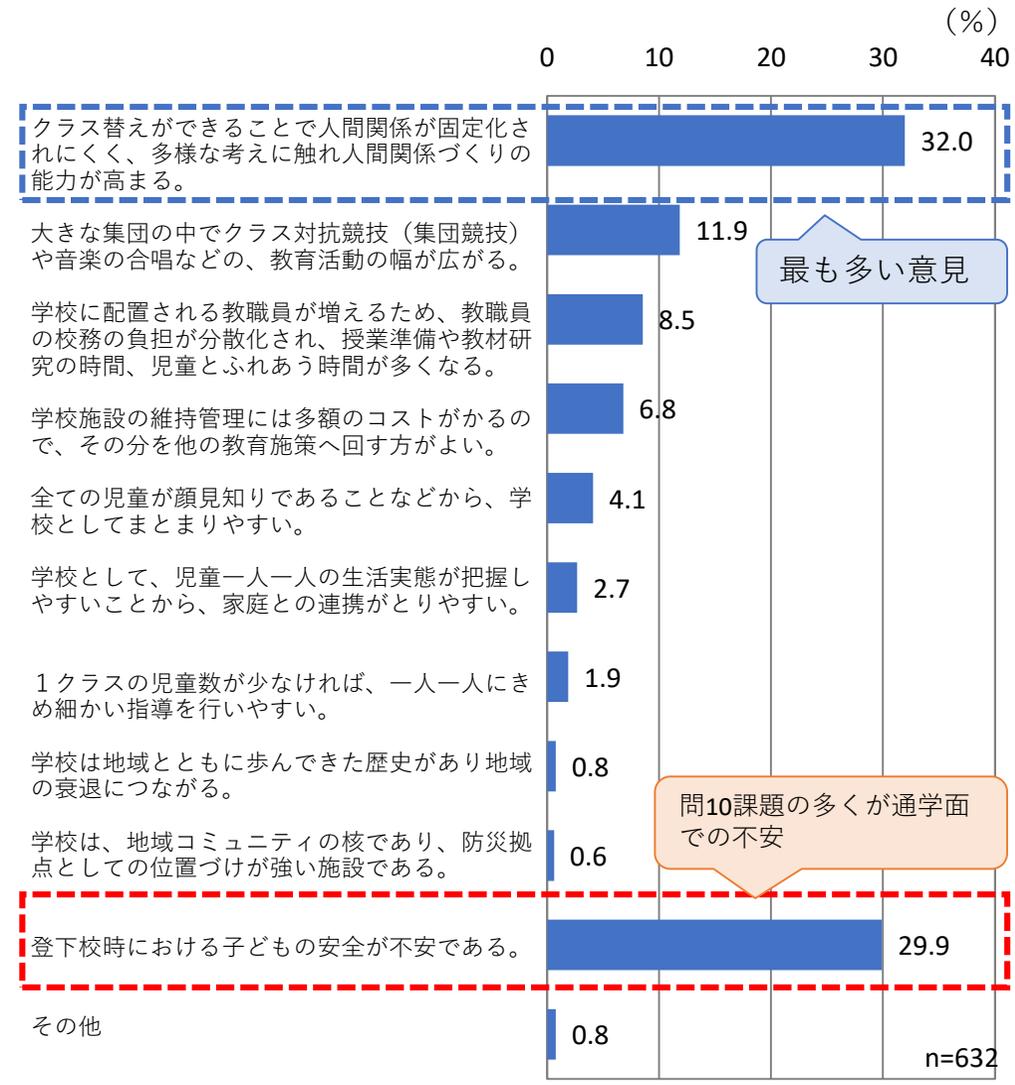
4 回収結果

配布数	1,730
回収数	632（10月10日時点）
回収率	36.5%

問10 小中学校の児童数が今後さらに減少する場合、小規模校についてはどのようにすることが望ましいと考えますか。あなたの考えに最も近いものを教えてください。（あてはまるもの1つを選択）



問11 問10の回答をされた理由について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。（あてはまるもの1つを選択）



【答申の内容】

- 1学年1学級という状況は子どもの教育環境として好ましいとは言えない。
- 特に、1学年を構成する人数が10人程度になるという状況は、できる限り避けることが望ましいという結論に至った。
- 学校運営を行う上で、小規模校における教職員の負担やそれに伴う子どもへの影響等についても対応していく必要がある。

以上より、鳥飼地域における小学校の規模と配置について、次のとおり適正化を図ることを提起する。



鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合する

【留意事項】

- ◇第五中学校で1学年1学級が発生すると推計されている令和14年頃を目途に、同校の適正規模・適正配置について検討されたい。
- ◇再編整備により、一方の学校を残すのではなく、2つの小学校の歴史や伝統、実績等の教育的・文化的な財産を引継ぎ、新たな学校を創出するという考え方を尊重し、その具体化に努められたい。
- ◇適正配置に伴う新たな通学路や通学方法の検討にあたっては安全確保について十分留意されたい。
- ◇まちづくりの将来構想も併せ、魅力ある学校づくりにあたっては地域住民や関係機関との連携に努められたい。

【主な内容】

■鳥飼小学校と鳥飼東小学校を統合する

- ①施設は鳥飼小学校を使用する
- ②学校名は「（仮称）鳥飼小学校」とする
- ③統合の期日は令和8（2026）年4月1日までとする
- ④中学校の適正配置について令和14（2032）年を目途に検討を進める



■教育環境の充実に向けての取組

Ex.

- ・統合時の教育活動の円滑な接続
- ・特色のある学校づくり
- ・通学路の安全対策
- ・教員の働き方改革・教育水準の向上
- ・新しい時代の学びを実現する学校施設の改修 等々

【検討内容①】

- 鳥飼東小学校と比べ、鳥飼小学校の方が教室数は多いため、統合後の内部改修による教育環境の充実を図りやすい。
- 保護者アンケートや意見交換会で課題として最も挙げられた「通学距離」については、最長通学距離に差はほぼないが、鳥飼小学校に統合した場合、片道1.5kmの範囲での通学距離が大多数を占め、統合後の平均通学距離が短くなる。

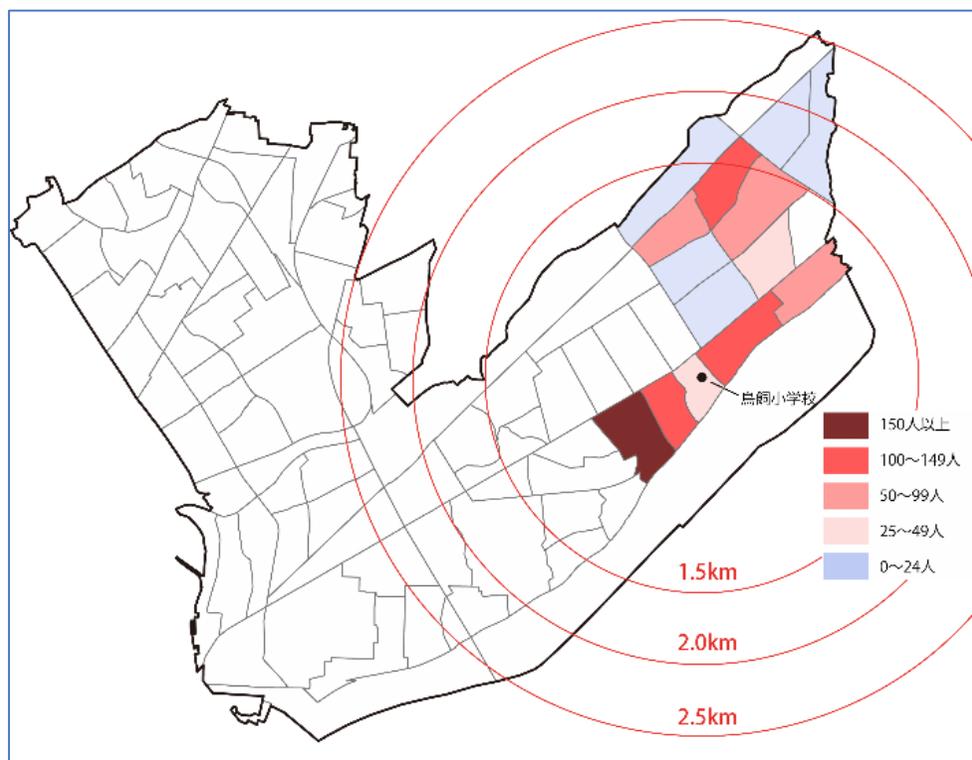
◆教室数の比較◆

統合先	施設の状況		2032年に確保すべき学級数	確保すべき学級数に対応する方策
	現状			
	学級数	左記以外の居室数		
	上段：普通 下段：支援			
鳥飼小	8	12	11	内部改修による対応 ⇒専用教室等の転用
	(4)		(8)	
鳥飼東小	7	9	11	内部改修による対応 ⇒専用教室等の転用
	(3)		(8)	

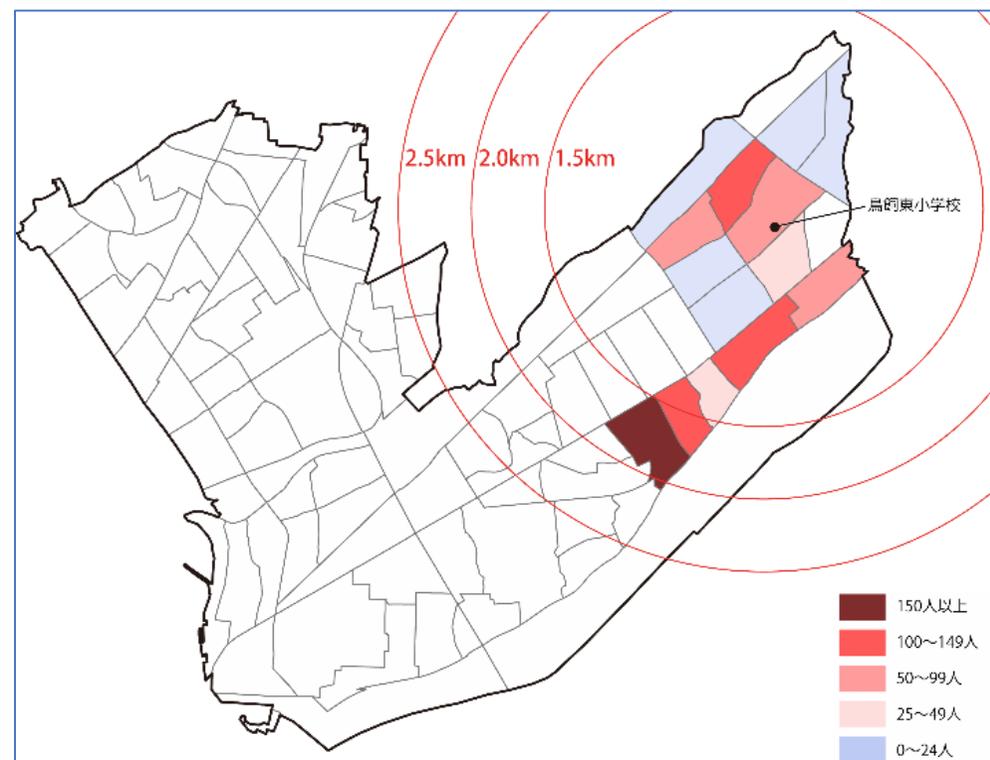
◆通学距離の比較◆

統合先	従前校区	現状		統合後	
		最短	最長	最短	最長
鳥飼小	鳥飼東小	0m	1,112m	246m	2,232m
	鳥飼小	0m	1,357m	同左	同左
鳥飼東小	鳥飼小	0m	1,357m	414m	2,293m
	鳥飼東小	0m	1,112m	同左	同左

◆16歳未満の人口分布（令和4年10月時点）◆

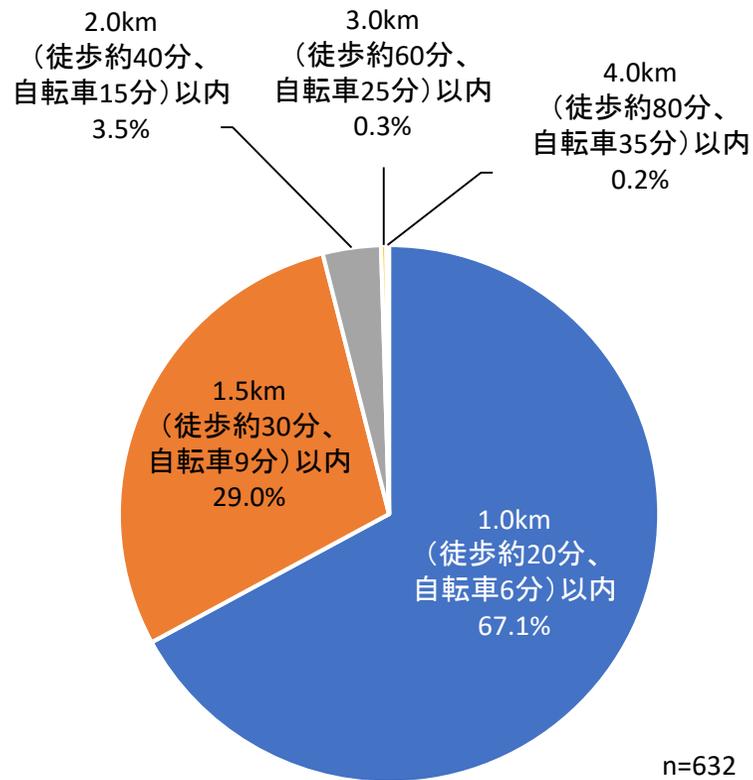


[鳥飼小学校を中心とした同心円図]

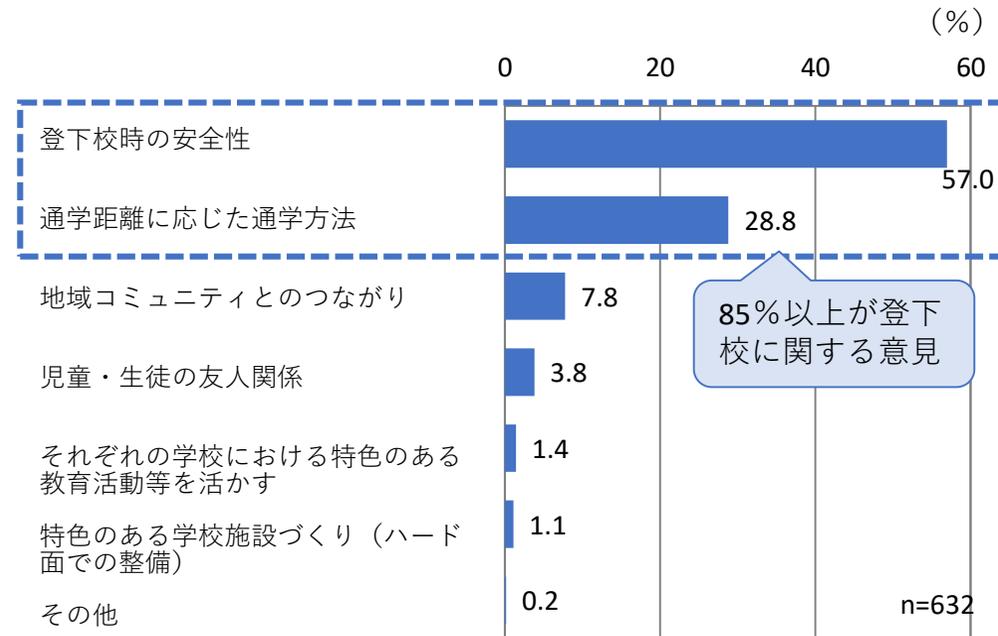


[鳥飼東小学校を中心とした同心円図]

問12 子どもの（徒歩の）通学時間として、どの程度までが許容範囲だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを教えてください。（あてはまるもの1つを選択）



問14 学校の適正規模・適正配置について検討する上で、最も重視すべきと思うものを教えてください。（あてはまるもの1つを選択）



3.適正規模・適正配置計画（案）

～②統合の学校名は「（仮称）鳥飼小学校」とする ③統合の期日は令和8（2026）年4月1日までとする～

【検討内容②統合の学校名は「（仮称）鳥飼小学校」とする。】

■鳥飼小学校は令和5（2023）年で開校150周年を迎え、摂津市で最も歴史の古い小学校である。また1970年以降の宅地開発に伴い、鳥飼小学校から、鳥飼西小学校、鳥飼北小学校、鳥飼東小学校に分離した経緯なども勘案した。

■鳥飼東小学校の歴史や伝統、実績等の教育的・文化的な財産はしっかりと引継げるようにする。

【検討内容③統合の期日は令和8（2026）年4月1日までとする。】

■令和9（2027）年に鳥飼東小学校で児童数が10人程度となる学年が発生することから、可能な限り早急に対応する必要がある。

■統合後の施設は鳥飼小学校を使用するため、新たに大規模な校舎を増築する必要はなく、施設の改修により鳥飼東小学校の児童を受入れることができる。

■統合に向けて、条例の制定や学校間の調整等、統合への諸要件を検討する必要があるとともに、本計画の周知期間のため一定の時間を要する。

【検討内容④】

■鳥飼小学校と鳥飼東小学校の統合後、将来的には小規模校となることが推計されており、第五中学校では令和14（2032）年に1学年1学級となる見込みであり、鳥飼地域全体の学校規模適正化については引き続き検討していく必要がある。

◆将来生徒数・学級数（第五中学校）の推計◆

学校	区分	学年	実績	推計						
			2022年	2027年	2032年	2037年	2042年	2047年	2052年	2057年
第五中	生徒数 (人)	1年生	82	62	42	37	36	30	26	19
		2年生	84	49	35	37	36	31	27	20
		3年生	72	65	53	37	37	32	28	21
		計	238	176	130	111	109	93	81	60
	学級数 (学級)	1年生	2	2	2	2	2	1	1	1
		2年生	2	2	1	2	2	1	1	1
		3年生	2	2	2	2	2	1	1	1
		計	6	6	5	6	6	3	3	3

注) 「実績」は、令和4（2022）年5月1日現在の学校基本調査による

「学級数」は、学齢人口を1学級35人で除し、端数を切り上げて計算したもので、網掛けは「適正規模の考え方」（12学級以上）を割り込むもの

4.今後のスケジュール（案）

【令和5年】

- 6月～8月：地域説明会を順次実施予定
（①就学児保護者・PTA、②未就学児保護者、③青少年指導員、
④自治会、⑤地域説明会（対象者限定無し）
- 8月：教育委員会定例会にて計画（素案）を上程
- 9月：文教上下水道常任委員会協議会にて計画（案）について協議
計画（案）のパブリックコメント実施
- 11月：教育委員会定例会にて計画を確定
- 12月or2月：市議会定例会にて「摂津市学校条例」の改正案を上程

【令和6～7年】

- 令和8年度の統合開始に向け、教育環境の充実に向けての取組を順次進める。

※詳細については、関係課と調整し随時情報を公開していく。